



教育協働学科 グローバル教育講座 日本語教育コース・日本語教育副専攻プログラム

○沿革と概要

国立大学法人大阪教育大学では、2017年度から教育協働学科グローバル教育部門多文化リテラシーコース（現日本語教育コース）で日本語教員の養成課程を開始しました。言語的・文化的背景が互いに異なる日本人学生と留学生が、日本語教育について共に学び合うスタイルは、本コースの大きな特色です。

教員養成系大学として今まで培った国内外の教育現場との協力関係を基盤にして、日本語教育についての基礎的な知識及び実践的な教育方法やスキルを身につけ、社会文化に対する幅広い理解力と他者と主体的に協働する力を兼ね備えた日本語教員を養成するための仕組みを構築しています。

2025年度5月に登録日本語教員養成機関・実践研修機関に認定され、国内外の多様な現場で活躍できる日本語教育人材の輩出を目指しています。

○受講資格・定員

日本語教育コース（主専攻）は、定員 55 名です。日本語教育副専攻プログラム（副専攻）は、定員 10 名です。教育実習にあたる実践研修の定員は、主専攻は約 20 名、副専攻は約 3 名です。学生は自分が望む進路に応じて、実践研修まで進むかどうかを決めます。

また、書類審査を通過した場合、科目等履修生制度を活用して実践研修に参加することができます。

○登録日本語教員養成課程 修了要件

【日本語教育コース（主専攻）の場合】

原則として3回生後期終了時に必修科目 35 単位を取得していること、かつ課題レポートにより修了認定を行います。

【日本語教育副専攻プログラム（副専攻）】

原則として3回生後期終了時に、必修科目 33 単位を取得していること、かつ課題レポートにより修了認定を行います。ただし、専攻の事情に応じて特例措置を認めることがあります。

【大教大 登録日本語教員養成課程カリキュラム】

開講科目	主専攻	副専攻
外国人の子どもの理解と支援	○	
ことばの獲得と運用	○	
子どもの言語教育	○	
異文化間教育	○	
日本語教育概論Ⅰ・Ⅱ	○	
日本語教育実践論	○	
言語習得概論	○	
日本語学研究ⅠA・ⅠB	○	
日本語学研究Ⅱ	○	
言語構造論	○	
日本文学研究ⅠB	○	
日本語教育演習A	○	
日本語学演習	○	
日本文学演習B	○	
中国言語文化研究Ⅰ	○	
多文化共生と言語文化教育	○	
グローバル化時代の法A・B	△選択	
グローバルヒストリーA・B	△選択	

【実践研修（主専攻・副専攻）の場合】

模擬授業の鍛錬に特化した3回生後期開講「日本語教育演習B」と教壇実習に該当する4回生の集中講義開講「日本語教育プロジェクト演習」の計4単位を取得し、4回生後期終了時に教育実習報告会への参加状況、課題レポートにより修了認定を行います。

○課程授業の一例

1回生から「日本語教育概論Ⅰ」を開講し、国内外の日本語教育事情、国内の外国人施策、多様な学習者を対象にした目的・対象別日本語教育の輪郭を理解し、日本語教育の基本的な知識を獲得します。2回生から開講の「日本語教育概論Ⅱ」では、学習者の背景や目的に応じた教育方法や評価の基礎について学びます。また「日本語教育実践論」と「言語習得概論」を通じて具体的な指導の在り方や第二言語習得としての日本語学習について理解を深めます。「日本語学研究ⅠA・B」では、日本語に関する知識と洞察力を身につけます。さらに、日本語教員として広い視野と深い教養を備えるために日本文学、歴史学、法学に関わる授業も用意しています。なお、教員養成系大学として外国人児童生徒等への理解や日本語指導の基本が学べる授業も開講しています。

○教壇実習

多様化する学習者の背景と学習目的に対応できる日本語教員を養成するため、国内外の様々な実習先を用意しています。

【大阪教育大学内】…正規留学生のための通常授業／正規留学生のための特別日本語教室／非正規留学生（交換留学生や日本文化研修生等）のための通常授業

【大阪府内】…日本語学校／地域日本語教室／外国人生徒の在籍校

【海外】…日本語・日本文化を学ぶ大学（タイ）

【留学生のための特別日本語教室の様子】



○学習支援体制

日本語教育コースに所属する教員の大半が、留学や就職で外国生活を経験しており、日本の枠組みに縛られないグローバルな視点から日本語教育を志す学生の学びをサポートします。教員の専門も人文学や社会科学等多岐に渡り、学生は専門性を追求しながら、これからの社会に必要な日本語教員をはじめとする日本語教育人材を目指します。

日本語教員を目指す学生が進む実践研修では、登録日本語教員の資格を有する複数の教員が手厚い指導を行います。

○課程修了と進路

教員養成系大学として学校教員免許の取得を目指す学生が大半です。その多くが、外国人児童生徒等の日本語指導ができる教員を志しています。日本語教育コース（主専攻）生は、学部の共通科目（基盤教育科目）と日本語教員養成課程の専門科目を履修しながら国語教員（中高）の免許取得が目標です。

また、学生の多くが、外国や日本の日本語教育機関で教員になることを希望しています。さらに、外国人材の派遣を担う企業の日本語教育担当や地域日本語教育を推進する日本語教育コーディネーターを目指す学生もいます。

なお、日本語教育の専門性を高めるために大学院に進学する学生もいます。

○大学の養成課程について知るには

日本語教育コースについては、以下のサイトをご覧ください。

■問い合わせ先

櫛引 祐希子

（登録日本語教員養成課程主任）

kushibiki-y11@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

